

令和3年（2021年）度 旭川大学高等学校 評議員からのご意見等

・18歳成人について、大変だとは思いますが、高校側の指導に期待したい。選挙投票は、保護者が連れて行って教える方がよいと考えている。

・「外部から見る旭大高」の印象が変化してきている。数年前までは「部活動がやりたい」という声が多数であったと記憶しているが、最近は「何かを身につけさせてくれそう」という期待感が大きくなってきていると感じている。

・保護者は子供が落ち着いて学校生活を送ることを求めており、その点で旭大高は良い雰囲気が広がっている印象がある。

・旭川市内各校を見ていると偏りを感じ、進学一辺倒が気になっている。就職に力が入っていないので、そこを考えている生徒が浮いてしまう。旭大高にも就職希望生徒はいるだろうから、浮いてしまう生徒が出ない進路指導を展開してほしい。

・学校評価アンケートについて、保護者や生徒からの意見等について、可能な回答は公表してもよいのではないか。また、頂いた内容については、真摯な対応を望む。

・旭川大学、旭川大学短期大学部の公立化をうまく活用して、旭大高が伸びるようになってもらいたい。

・地域活性化のためには人材育成・人材確保である。人材の流出を止める必要がある。高校は地域と連携を図り、人材の育成・確保に努めてほしい。

上記のようなご意見を頂戴しました。どうもありがとうございました。

今後の学校運営の参考にさせていただきます。